

# エンゼルランドふくいは 子どもの健全育成、子育てを応援します！！

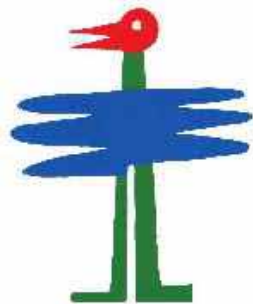
所在地	坂井市春江町東太郎丸3 - 1		
設置年月日	平成11年6月1日		
施設の種類	児童厚生施設	施設管理主体	県
設置の目的	遊びを通じて児童の健康を増進し、その情操を豊かにするとともに、科学に関する関心と理解を深めることにより、児童の健全な育成を図る。		
概要 (構造、面積、主な機能)	本館：鉄骨鉄筋コンクリート造り、地上2階(一部3階)、延べ6,849㎡、プレイエリア、展示エリア、センターエリア(スペースシアターなど) 別館(太陽と風の砦)：鉄筋コンクリート造り、地上2階、延べ170㎡ 屋外公園：芝生広場、大型遊具(こどもの村、こどもの雲)、単体遊具		
職員数	職員9人 県派遣4人 嘱託8人 アルバイト1人 計22人		

## 利用状況等

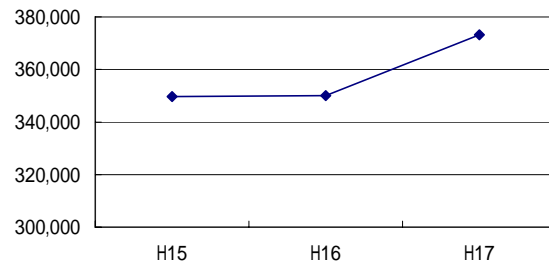
	H15	H16	H17
入場者数(人)	349,710	350,097	373,126
企画展入場者数(人)	62,725	41,860	51,879

## 利用者負担(利用料金)等

観覧料 (スペースシアター)	一般	500円
	小中学生	250円
	幼児	100円
"(展示)	一般	100円



利用者数の推移



利用状況の推移	<p>年3回実施している企画展に加え、催事や各種イベントなどを年間102日実施することにより、その期間の入館者数が約10万人、また、年間入場者数は、前年を超える約37万人と年間を通じて多くの方の利用がありました。</p> <p>また、平成18年3月には開館以後の総入館者が240万人を超えました。</p>
---------	--

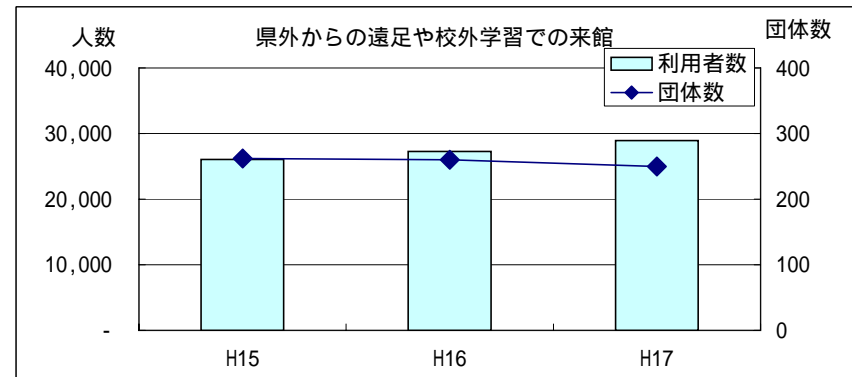
## 平成17年度の特徴について

事業実績	<p>6月の企画展「ダンボールアドベンチャー」、ダンボールでできた「やぐら」に迷路や滑り台を屋内に設置、ダンボール工作教室やキャタピラレース等を実施しました。また、秋の企画展では「発砲スチロールリサイクルランド」を実施し、開催期間中に、「青少年のための科学の祭典2005福井大会」「エネルギーかるた大会」「宇宙学校」を同時に開催しました。</p> <p>コンピュータールーム・クラフトルーム・サイエンスラボでは、月ごとに変わるプログラムに加えて、春休み、夏休み期間中には特別教室を実施し、遊びながらの体験・創作、科学に触れ、学べる機会を提供しました。</p> <p>クラフトルームでは、母の日・父の日・敬老の日に合わせてカード作りなどの工作教室、コンピュータールームでは、オリジナル卓上カレンダー作りや透明傘にデザインをする教室、また、サイエンスラボでは、月々の実験ショーの他にビオトープを利用した「のぞいてみようメダカの生活」や手の指紋、血液を調べる科学教室を新たに取り入れ、年間約92,500人が利用しました。</p> <p>ファンタジーエッグでは、乳幼児対象の音楽遊び、季節催事に合わせたイベントを行うなど約56,000人の利用者がありました。</p> <p>県内の児童館・児童センターの館長や児童厚生員や放課後児童クラブの指導者に対する研修等を実施し、年間約625名の参加がありました。また、児童館フェスタ2006では、延べ138名の児童館関係者が参加して、ステージ発表や工作等を実施しました。</p>
------	---

## 観光資源としての役割

遠足などで、県外から250団体が来館するなど、本県の観光資源としても重要です。

近県への定期的なPRにより、県外からの来館者への情報提供を行いました。



## ボランティアの養成

平成17年度は、115名のボランティアが登録、延べ656名が活動し、クラフトルームやコンピュータールーム、サイエンスラボにおける児童の指導をはじめ、自主企画イベントなどの新たな取り組みも積極的に行いました。



# 福井県児童科学館(エンゼルランドふくい) 2/2

行政コスト計算書(平成17年度) (単位 千円)

	総額	構成比	前年比
人にかかるコスト	人件費	0	0.0%
	退職給与引当金繰入	0	0.0%
	計	0	0.0%
物にかかるコスト	物件費	351,139	41.7%
	維持補修費	20,157	2.4%
	減価償却費	353,793	42.0%
	計	725,089	86.1%
その他	公債費(利子)	116,665	13.9%
	その他	0	0.0%
	計	116,665	13.9%
合計	841,754	100.0%	93.7%

バランスシート(平成18年3月31日現在) (単位 千円)

借方			貸方		
資産		前年比	負債		前年比
有形固定資産	8,315,882	96%	固定負債	3,999,329	85%
投資等	41,105	83%	流動負債	688,058	100%
流動資産	0	-	正味資産	3,669,600	110%
計	8,356,987	96%	計	8,356,987	96%

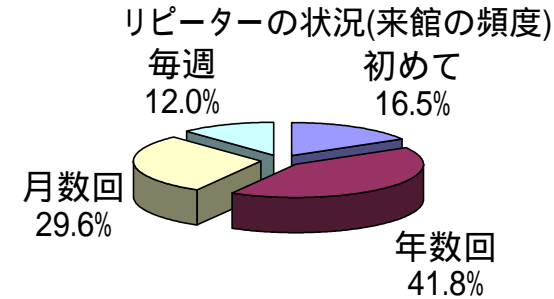
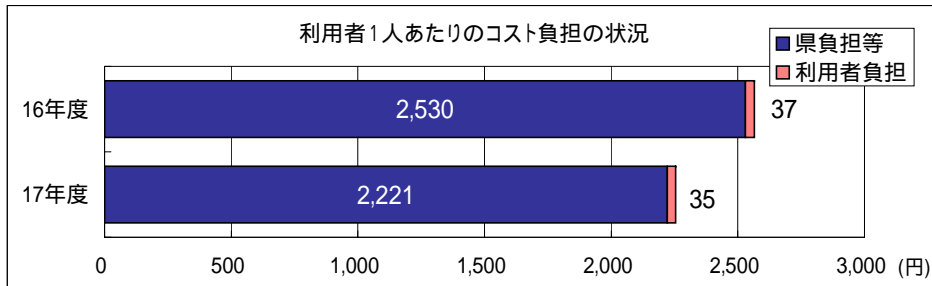


(単位 千円)

収入	利用料等収入	13,030	1.5%	101.2%
	その他収入	8,658	1.0%	83.1%
	一般財源	820,066	97.4%	93.7%

(前年比)

利用料等収入計	13,030,000 円	101%
利用者1人あたり平均利用料	35 円	95%
利用者1人あたりコスト	2,256 円	88%



バランスシート、行政コスト計算書の特徴

- 施設の設置が、平成11年と新しく、減価償却費や公債費の割合が高くなっています。
- 社会福祉法人福井県福祉事業団への管理委託を行っているため、県の委託料として物件費に計上しています。
- 維持補修費が減少しましたが、これは前年度に、屋外遊具「こどもの雲」、展示エリア「スペースシップ」の大規模修繕があったためです。
- 有形固定資産のうち、建物6,248,550千円と75%を占めています。
- 展示エリアとスペースシアター以外は、無料で利用できるため、利用者負担割合は低くなっています。
- 物件費や維持補修費の縮減に努める一方で、入場者数が増加したことにより、利用者1人あたりコストは16年度の2,530円に対し、2,221円となりました。

今後の事業方針

平成18年4月から平成21年3月までの3年間、社会福祉法人福井県福祉事業団が指定管理者となり管理が行われます。

取組み内容

- 常に新たな企画内容を取り入れ、県内の親子に何度も来館してもらえよう、ソフト面を充実していきます。
- 特に、春休み、ゴールデンウィーク、夏休み、冬休みは、休館日をなくし、年始も3日から開館して、利用者のサービス向上に努めます。
- また、平成18年度からは、未就園児対象の事業に「子育てマイスター」の協力を得て、保護者の相談に応じる事業を実施しており、県内の子育て家庭に対する支援も充実していきます。
- 利用者アンケートの実施やホームページ等で意見を聞き、ハード・ソフトの改善をしていくことで、子どもが利用する施設として、安全で楽しめる施設運営を行っていきます。
- 県内の児童館・児童センターの中核施設として、これらの施設の連携や職員の資質向上を図っていきます。

施設の特徴

開館以来、宇宙飛行士の毛利衛氏を名誉館長とし、宇宙や科学、自然について、子どもたちが学び、遊ぶことができる体験型の展示装置を数多く設置し、また、さまざまな地域文化や環境を学べる展示装置も併設するなど、子どもたちが発見や感動を通じ、地球や宇宙について考える機会を提供しています。

今後の課題

また、屋外広場には、全国でも数少ない大型遊具、屋内にはプラネタリウムが設置されており、その人気も高く、一部を除いて無料ということもあり、県内外の多くの親子が利用しやすい施設となっています。

今後、少子化による影響がある中で、施設設備の機能を適切に維持しながら、新たな企画を取り入れていきます。